

# これからの予定

今年度、来年度も引き続き意見交換やイベント、ワークショップを開催する予定です

今年(平成17年)度はワークショップでまとめられた「建設構想案(まとめ)」をより多くの地域の皆さんに知っていただき、意見をお聞きするイベントなどを実施します。

そして来年(平成18年)度からは、いよいよ本格的な「設計案」づくりと「運営の仕組み」づくりを進めます。設計と運営づくりには、清田区に住んでいる地域の皆さんのご意見が何より重要になります。建設ワークショップに引き続き、皆さんのご協力をお願いします!

## 今後の動き

### 今年度(平成17年度)

平成17年11月	「(仮称)清田区地区センター建設ワークショップの建設構想案(まとめ)」を報告する「区民報告会」を開催
平成17年12月	地区センター建設にあたってのアンケート実施
平成18年 2月	(仮称)はちけん地区センター市民見学会 開催 平成18年4月オープン予定の同センターを見学します。このセンターは清田区と同様、ワークショップの意見をとりいれて建築されたセンターです。来年度から始まる設計や運営の検討の参考にします。
平成18年 3月	(仮称)「ぼくが、わたしが大好きになる地区センターの絵」展覧会 開催 子どもたちが大好きになる地区センターを描いてもらい、絵の展覧会を開きます。

### 来年度以降(平成18~20年度)

平成18年度	建設検討委員会 発足・開催 これまでのワークショップや公開講座、アンケートで考えた「建設構想案」を元に、具体的な「設計」の策定に入ります。	委員を公募します。	運営を考える会 発足・開催 具体的な「設計」を考えると共に、施設の使用方や、管理の仕方などを検討します。この地区センターは、地域住民の方が使いやすいするために、皆さんのご意見が必要です。より多くの方のご参加をお待ちしています。
平成19年度	センター建設に着手します!! 平成18年度に検討いただいた「設計」を元に地区センター建設に着手します。		平成19年度も引き続き、より具体的に、運営・管理の方法を検討していきます。
平成20年度	平成20年(仮称)清田区地区センター オープン!!! 皆さんのご意見と専門家の意見を取り入れた、建物も運営の仕組みも使いやすい地区センターが平成20年4月ごろオープンします!!		

**「(仮称)清田区地区センター」の設計や使いやすい仕組みづくりには引き続き、地域の皆さんのご意見が必要です!!意見交換など、参加者を公募します!**

詳細が決まり次第、皆さんのお宅に配布される「広報さっぽろ」において、お知らせします。意見交換やイベントは堅苦しいものではありません。「気軽な」ご参加をお待ちしています!

### 皆さんは地区センターにとって何が重要だと思いますか? ~アンケートを実施します~

(仮称)清田区地区センター建設にあたって、より多くの住民の皆さんのご意見を反映できるように「地区センターの特色として重要なものは何か」についてアンケートを実施します。

このニュースレターに同封していますので、下記担当まで郵送やファクス、メールなどでご意見をお聞かせください。より使いやすく愛される施設にするために、皆さんどうぞご協力をお願いします。

詳細は添付の別紙「アンケート調査票」をご覧ください。

この通信に関する  
お問い合わせ先

清田区市民部地域振興課地域活動係  
住所:〒004-8613 札幌市清田区平岡1条1丁目  
☎ 011-889-2400(内線255) ☎ 011-889-2701



# 清田区地区センター建設ワークショップ通信 No.2

発行日 平成17年11月  
発行所 札幌市清田区市民部地域振興課

## 「(仮称)清田区地区センター建設ワークショップのまとめ(建設構想案)」と「地区センターのイメージ図」が出来ました!

清田区では、平成20年度の地区センターオープンに向けて、平成18年度に「(仮称)清田区地区センター建設計画」を策定する予定です。建設計画は、「区民とともに作る地区センターづくり」を目標としています。

そこで、地元、清田区民の皆さんと話し合う「(仮称)清田区地区センター建設ワークショップ」や、ワークショップに参加されていない方々に関連する情報のお知らせやご意見をいただく「公開講座」を開催しました。

このニュースレターでは、平成16~17年度に行われた6回の「ワークショップ」と4回の「公開講座」の様子、またそこで寄せられた意見をまとめた「建設構想案(まとめ)」と望ましい施設の「イメージ図」をご報告いたします。

### これまでに開催された、ワークショップと、公開講座の様子をお伝えします

<h4>平成16年度</h4> <p>「第1回 ワークショップ」 11月24日(水)開催 ワークショップの目的や進め方を理解し、委員の自己紹介を兼ねた意見交換</p> <p>「第1回 公開講座」 12月19日(日)開催 「子育て期女性のライフスタイル調査報告~新地区センター建設のために~」講演と意見交換</p> <p>「第2回 ワークショップ」 1月16日(日)開催 市内3ヶ所の地区・区民センターの施設見学と施設見学を踏まえた意見交換</p> <p>「第3回 ワークショップ」 2月23日(水)開催 平成16年度の最後として、これまでの内容を振り返り、地区センターの特徴と重点について意見交換</p> <p>「第2回 公開講座」 3月19日(土)開催 「求められるスポーツ施設~活用・運営・連携の展開」講演と意見交換</p> <p>ニュースレターの発行 ...3月発行... 「(仮称)清田区地区センター建設ワークショップ通信No.1」を清田区全戸に配布</p>	<h4>平成17年度 今年度のワークショップと公開講座の様子です!!</h4> <p>「第4回 ワークショップ」 5月25日(水)開催 今年度から新しいワークショップメンバーが10名加わりました!昨年度の内容を新しいメンバーとともに振り返りながら、思いつくりの意見を出しました。</p> <p>「第3回 公開講座」 6月30日(木)開催 「子育て期女性の実情について」の講演と質疑応答の施設見学を行い、参加者の皆さんと意見交換を行いました。 ◆講師/清田区子育て支援担当係長・野島氏 養生館小学校・石川氏 札幌市子育て支援総合センター・榎氏</p> <p>委員の皆さんにアンケートを実施 6月 地区センターの特色・重点をどこに置くかを、改めて確認するため、委員の皆さんにこれまでの全ての意見をまとめたアンケートに回答してもらいました。</p>	<p>「第5回 ワークショップ」 7月13日(水)開催 6月に行ったアンケートの結果を発表し、大切にしたいポイントや再確認したうえで、事務局が作成した4つのイメージ図と立体模型で地区センター案を検討しました。</p> <p>「第4回 公開講座」 8月7日(日)開催 「心のバリアフリーを目指して」をテーマに講演と意見交換を行いました。 ◆講師/むくどりホーム・ふれあいの会 代表 藤川 明子氏</p> <p>「第6回 ワークショップ」 9月7日(水)開催 2年間にわたるワークショップの最終回。前回4つのイメージ図で検討した意見をふまえ、事務局が作成した新しい1つのイメージ図と建設構想案(まとめ)を見ながら内容の検証と意見交換を行いました。</p>
---	---	---

参加者の皆さんが語りつくした意見のまとめ「建設構想案(まとめ)」をご覧ください!!

これまで以上に使いたくなる地区センターをワークショップメンバーが考えました

# 清田区地区センター建設ワークショップのまとめ(建設構想案)とイメージ図

## I. 施設の基本的な考え方

- ① 特色を重点化する
- ② 将来を見据えて考える
- ③ より多くの人々が利用できる仕組みをつくる

※3つのキーワードを頭において検討しました。

### 1. 子どもや子育て世代を支援する施設へ

- 子育てスペースの設置(子育てや子どものための本を置いた図書コーナーを併設)
- 周囲の人が見守ることの出来る子どものプレイルームを設置…など

### 2. 多世代、誰もが気軽に交流できる施設へ

- フリースペースやサロン、共用のまちづくり広場などを設置。使いやすい仕組みを工夫する。
- 自然に人が集まり、自然に語らう。
- みんながゆったりくつろぐことが出来る場所へ

### 3. 清田らしさ、清田ならではの特色をもった施設へ

- ミニ区民センターではない、他にはない特色を持った施設に。
- 屋上に天体広場を設置し、森が多くきれいな空気の清田で星を楽しむ。
- 多世代の大らかな交流こそが清田の特色。
- 緑を豊かにするなど外観にも配慮した施設へ。

## II. 施設のつくり方や使い方について

### II-1 多様な使い方が出来る施設

- 壁は可動扉を有効に使う(イメージ図の中では点線で示されています。)
- 和室のみのスペースをつくらず、畳の取り外しが出来る和・洋室を設ける
- フリースペースを多く設置する。…など

### II-2 体育館・図書室は規模を縮小 近隣の施設とネットワークでおこなう

- 簡単な運動が出来る多目的ホールとする。
- 住民の催事、発表会などが行いやすい施設にする。
- 図書室は設置せず、サロン・フリースペースに図書コーナーを設置。その他図書は清田区図書館をより活用する。

### II-3 広い実習室、飲食スペース、視聴覚室、天体広場、情報施設を設置

- (実習室)食育や介護支援、炊き出し、講習会に活用
- (飲食スペース)喫茶や飲食を楽しむ
- (視聴覚室)会議、映画鑑賞、カラオケなど
- (天体広場)総合学習、冬の星とスノーキャンドル
- (情報施設)コンピュータ、LAN、講座開催

### II-4 多目的広場でイベント・交流を 駐車場としても活用

- 屋外でのイベントを実施
- 普段は駐車場として活用

### II-5 まちづくりに関連する施設を 一体化した施設

- まちづくりセンター、福祉のまちづくり推進センター、子育てスペースを一体的に配置
- 20人位が会議出来る共用フリースペースの設置、交流にも活用

## III. 施設的环境や設備について

### III-1 ユニバーサルデザインで 誰もが使いやすい施設

- 動線、機能、配置など細部まで使いやすさに配慮
- 車椅子でも使いやすいスロープ
- 大き目のエレベータ …など

### III-2 自然光を有効に活用し、 温かく、明るく、開放感のある施設

- 縦に長い窓で太陽光を取り入れやすくする …など

### III-3 防犯・防災に配慮した動線を確保し、 人の目が行き届く施設

- 事務室を入口付近に配置、来館者は事務室の前を必ず通る動線を確保。
- 死角をつくらない、木を植えるときには視線をさえぎらないようにする。…など

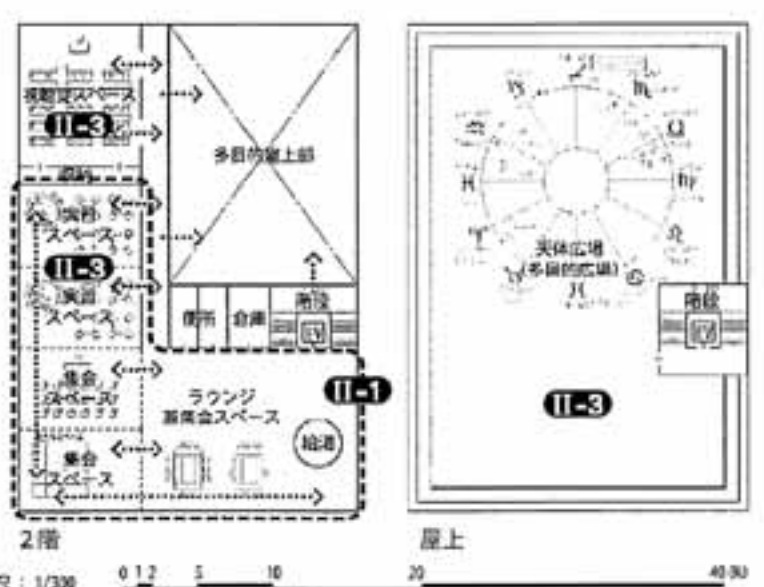
### III-4 交通の便に 配慮した施設

- 駐車場は50台以上は必要。
- 巡回バスがあると利用しやすい。…など

### III-5 自然エネルギー活用、 省エネルギーに 配慮した施設

- 自然エネルギーを活用する。
- 省エネルギーに配慮する。…など

※この図はイメージ図ですので実際の配置図ではありません



## IV. 運営・利用の仕組みについて

### 1. 人のふれあいを大切に、 地域の交流を生み出す施設

- すばらしいセンターが出来ても触れ合う人がいなければ寂しい
- 施設運営は何より人の心である
- むくどりホームのような運営要素を地区センターに取り入れられると地域の活性化につながる

### 2. まちづくりセンター・福祉のまちづくり 推進センターを中心とした 地域団体のネットワーク拠点

- 地域の様々な団体のネットワークの拠点
- ボランティア・NPOの会合を開催

### 3. 地域のイベントや行事を開催する施設

- 地元住民が中心のイベントや行事を開催

### 4. 地域のふれあいを大切にするために 利用しやすい運営

- 利用者(住民)が運営に参加
- 利用しやすい時間帯の設定や手続きの方法をとる

### 5. ランニングコストを考えた施設

- 札幌市の予算は厳しいのだから、必要があれば利用者からも利用料を徴収する必要があるのでは、貸室は有料にし、サロンは無料にするなど
- 省エネルギーに配慮する